



大津・SDGs協働推進プロジェクト2018 中間報告書



大津市市民活動センター



《はじめに》

大津市市民活動センターでは、毎年秋に市民公益活動団体と市民が交流する機会として「市民活動フェスタ」を開催してきました。しかし地域課題はますますグローバル化、複雑化しており、市民・企業・行政・大学の四者協働により解決することが求められています。よって今年度は、近年企業や自治体でも取り組みが始まった「SDGs」に焦点をあて「大津・SDGs協働推進プロジェクト2018」を実施しました。

この中間報告書では、四者協働によって、①本プロジェクト全体の成果、②四者協働の仕組み、③各事業の内容をご報告します。アンケート調査によりみなさまのご意見を頂戴した上で年度末に最終報告書を作成する予定です。なお内容に関して訂正など必要なことがございましたら、併せてご連絡いただけますと幸いです。

大津・SDGs協働推進プロジェクト2018 概要

《趣旨》

SDGsをテーマに、市民・企業・行政・大学の四者が協働で「啓発事業」「人材育成事業」「交流事業」に取り組み、今後、グローバルな視点から、より住みやすい大津のまちづくりを進める基盤をつくる。

《期間》

2018年8月1日（水）～11月30日（金）

《参加団体・協賛団体（五十音順）》

市民公益活動団体等

アートグループフォルシス アムネスティ・インターナショナル日本大津・坂本 NPO 法人あめんど 異オネットワーク いちやり場・沖縄の会（滋賀・沖縄県人会） 大津あいあい保育園 大津市介護家族・要介護者を支える会 大津市学童保育連絡協議会 NPO 法人おおつ環境フォーラム おおつ江州音頭保存会 大津サスティナブルな国際交流！

大津夜まわりの会 NPO法人CASN 企画舎羅針盤 けいこ広場 京滋モンゴル友好市民ネットワーク 在日コリアン高齢者の集い「ホスの会」 JICA関西 新日本スポーツ連盟滋賀県連盟 トゲトゲカンパニー まちかどプロジェクト みんなで、大津 ハートニットプロジェクト大津 びわこ環境サークル NPO法人びわこダルク（和太鼓チーム淡海響組） びわこ★1・2・3キャンプ実行委員会 NPO法人BRAHart 琉球國祭り太鼓滋賀支部

企業

株式会社叶匠壽庵 株式会社関西アーバン銀行 小林事務機株式会社 生活協同組合コープ自然派京都 株式会社滋賀銀行 株式会社滋賀リビング新聞社 株式会社昭建 正和設計株式会社 大和ハウス工業株式会社滋賀支社 長岡産業株式会社 株式会社ビバ 琵琶湖汽船株式会社 株式会社まちづくり大津 レーク商事株式会社

大学

成安造形大学（ちま吉くんとちま吉ダンサーズ）立命館大学SustainableWeek実行委員会

《後援団体》

大津商工会議所 大津北商工会 瀬田商工会
淡海ネットワークセンター 大津市社会福祉協議会
朝日新聞大津総局 NHK大津放送局 京都新聞 毎日新聞大津支局 読売新聞大津支局
中日新聞社 びわ湖放送 滋賀リビング新聞社
エフエムおおつ エフエム滋賀

《連携》

（社）環びわ湖大学・地域コンソーシアム

本プロジェクト全体の成果

1.SDGsを伝える・啓発・普及活動

SDGs子ども絵画コンクールには市内の小学校3年から中学校3年までの生徒から51点の応募があり、大津市長から大賞2点、企業から特別賞7点が授与されました。ポスター展では、コンクールの応募作品と共に、市内の5箇所の公共施設及び民間施設を会場に、市民公益活動団体、企業、大学の地域貢献のPRポスター20点が展示され、市民から好評を得ました。

大津市広報や新聞等のメディアで本プロジェクトの広報を行うほか、FMおおつで番組を設け、SDGsについて紹介したり、協賛いただいた25の市民公益活動団体、企業、大学が地域貢献活動の取り組み等をPRしました。

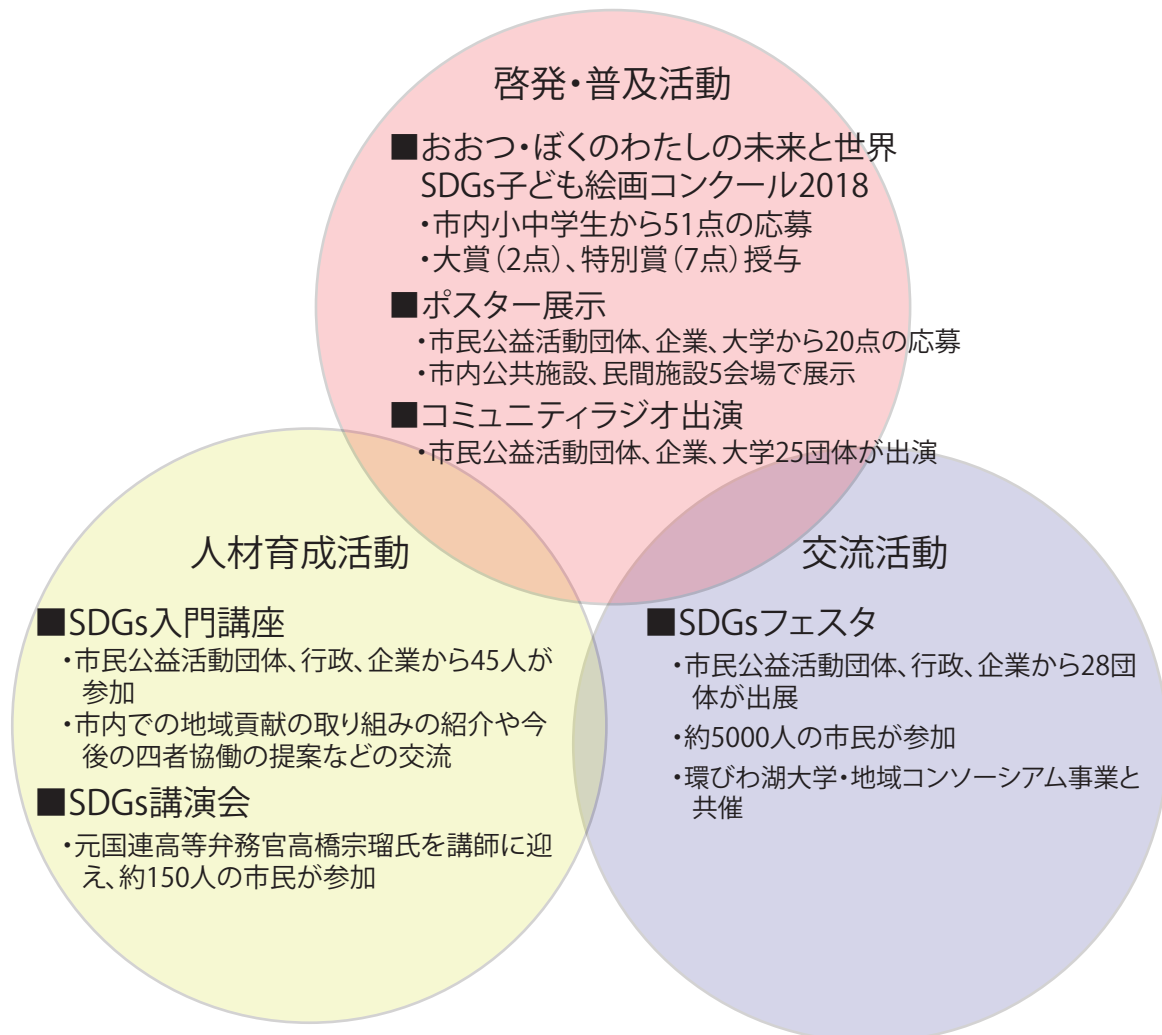
2. SDGsを育む・人材育成活動

2回のSDGs入門講座では、市民公益活動団体、行政、企業から計45人の参加があり、SDGsについての理解を深めました。またグループワークでは参加団体が地域貢献の取り組みを紹介したり、今後の四者協働の事業について提案しました。

SDGsフェスタの第二部として開催されたSDGs講演会には、150人以上の参加がありました。

3.SDGsをすすめる・交流活動

SDGsフェスタには21の市民公益活動団体、5社の企業、2大学が参加、ステージや飲食・体験ブース、クイズラリーなどを提供し、約5000人の来場者がありました。「おおつ・ぼくのわたしの未来と世界 SDGs子ども絵画コンクール」の表彰式も執り行われました。また環びわ湖大学・地域コンソーシアム*の大学地域交流フェスタが同時開催され、パネル展示やプレゼンテーションが行われました。



※環びわ湖大学・地域コンソーシアム事業
琵琶湖を取り巻く13の大学が参加し、県と6つの自治体、経済団体との連携事業を実施しています。

四者協働の仕組み

市民、行政、企業、大学の協働によるSDGs

SDGsは、市民、行政、企業、大学が取り組んできた、環境問題や福祉といった公益活動やCSR、地域貢献と深く繋がっています。本プロジェクトでは、それぞれの団体のこれまでの取り組みやネットワークを活かしながら事業を進めました。

●市民公益活動団体等

18の団体に協賛、25の団体に参加いただきました。広報では市民公益活動団体が持つネットワークが活用されました。例えばSDGs子ども絵画コンクールでは、子どもに関して活動する団体で、ひとりひとりの子どもにSDGsについて丁寧に説明することが可能となりました。SDGsフェスタでは、発電体験やアニメーション制作体験等、各団体の独自性や創造性を活かしたプログラムを提供し、魅力あるイベントとなりました。

●行政

広報やロゴの提供、会場確保等の手続きで協力いただきました。特にSDGs絵画コンクールでは、教育委員会の協力の下、市内の小学校と中学校での広報が可能となりました。

●企業

12の企業に協賛、8の企業に参加いただきました。SDGs子ども絵画コンクールやSDGsフェスタでは景品のご提供、広報では店舗等にチラシやパンフレットの配架をいただきました。コミュニティラジオが本プロジェクトの番組を設けることで、協賛団体が出演することもできました。ポスター展では、大型プリンターの貸し出し、施設のロビーなどを展示会場として提供いただきました。SDGsフェスタでは、飛び出し塗り絵体験や体組成測定など、各企業の専門性を活かした出展をいただき、幅の広いイベントを運営することができ、多くの市民に喜ばれました。

●大学

2つの大学の学生グループに参加いただき、SDGsフェスタでは、SDGsカレーやちま吉ダンスなど、大学生らしい創意工夫のあるプログラムが提供されました。また環びわ湖大学・地域コンソーシアムの大学地域交流フェスタが同時開催され、パネル展示やプレゼンテーションコンソーシアム事業のポスター展とプレゼンテーションが行われました。

●その他

大津商工会議所、大津北商工会、瀬田商工会をはじめ、10のメディア企業、淡海ネットワークセンターや大津市社会福祉協議会に後援を戴きました。

協賛・参加団体

	団体名	活動または産業の種類	地域貢献の内容	SDGsの番号
市民公益活動団体等	アートグループ フォルシス	福祉の増進 学術、文化、芸術の振興 職業能力の開発又は雇用の機会の拡充を支援	障がいや高齢者の方への手芸茶話会や野鳥写真展、資格勉強会の開催等	4・8・10・15
	アムネスティ・インターナショナル日本大津・坂本グループ	人権の擁護又は平和の推進	人権擁護に関する事業等	5・10・16
	NPO法人あめんど	福祉の増進 子どもの健全育成 職業能力の開発又は雇用の機会の拡充を支援	子育て支援や青少年育成支援、若者支援等	1・3・10
	異才ネットワーク	子どもの健全育成 福祉の増進	不登校や発達障害の相談等	4・8・10
	いちやり場・沖縄の会（滋賀・沖縄県人会）	学術、文化、芸術の振興 人権の擁護又は平和の推進	沖縄文化の発信	16
	大津あいあい保育園	子どもの健全育成	心身ともに健康な子どもの育成	3・4
	大津市介護家族・要介護者を支える会	福祉の増進	介護用品の製作や販売、サロンの運営	1・3・11
	大津市学童保育連絡協議会	子どもの健全育成 市民活動支援 福祉の増進	放課後の居場所づくり 働くことのできる環境づくり	3・5・8・17
	NPO法人おとお環境フォーラム	環境の保全	地球温暖化の防止、生物多様性の保全、環境学習の推進等	7・9・11・12・13・14・15
	おとお江州音頭保存会	学術、文化、芸術の振興	江州音頭保存や普及に関する事業や地域の活性化	3・4・5・10・11・17
	大津サスティナブルな国際交流！	国際協力	市民レベルでサスティナブルな社会づくりを目指すフェアトレード商品の販売	1・2・5・6・12・13・15・16・17
	NPO法人大津夜まわりの会	福祉の増進 人権の擁護又は平和の推進 職業能力の開発又は雇用の機会の拡充を支援	住居や雇用の不安定等により貧困を余儀なくされる人に対する支援活動等	1・2・3・16
	NPO法人CASN	福祉の増進 社会教育の推進 子どもの健全育成	子ども食堂、チャイルドライン等	1・2・3・4・10
	企画舎羅針盤	学術、文化、芸術の振興 まちづくりの推進	蘆花浅水荘の活用事業	11・17
	けいこ広場	子どもの健全育成 社会教育の推進 人権の擁護又は平和の推進	子どもの学習支援	4・10・16
	京滋モンゴル友好市民ネットワーク	国際協力 環境の保全 学術、文化、芸術の振興	生ゴミ堆肥化と健康野菜づくりを目指すプロジェクト等	3・9・15
	在日コリアン高齢者の集い「ホスの会」	福祉の増進 人権の擁護又は平和の推進 国際協力	在日1世の孤立を防ぐための交流の場づくり等	3・10・11・16
	JICA関西	国際協力	海外協力隊派遣、国際教育支援等	全て
	新日本スポーツ連盟滋賀県連盟	スポーツの振興 人権の擁護又は平和の推進 市民活動支援	スポーツを国民の権利として確立、発展	3・10・16
	トゲトゲカンパニー	学術、文化、芸術の振興、子どもの健全育成	アート（アニメーション製作）を通じた体験学習等	9・17
	まちかどプロジェクト	福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進	人権啓発講師や演劇活動を通じて誰もが住みやすい社会づくり	11・16
	みんなで、大津	まちづくりの推進 市民活動支援	大津版クラウドファンディング	17
	ハートニットプロジェクト大津	福祉の増進 職業能力の開発又は雇用の機会の拡充を支援 市民活動支援	東日本大震災の被災地支援	3・8・17
	びわこ環境サークル	子どもの健全育成 環境の保全	環境学習や環境イベントの実施等	13・7
	NPO法人びわこダルク（和太鼓チーム淡海響組）	保健、医療の増進	薬物依存症回復	3
	びわこ☆1・2・3キャンプ実行委員会	保健、医療の増進 子どもの健全育成	保養キャンプの実施	3・16
	NPO法人BRAHart	福祉の増進 まちづくりの推進 人権の擁護又は平和の推進	障がい者や若者の支援活動等	3・11・16
琉球國祭り太鼓滋賀支部	学術、文化、芸術の振興	沖縄の伝統芸能エイサーをベースに活動	17	
企業	株式会社叶匠壽庵	和菓子製造	里山づくり	12
	株式会社関西アーバン銀行	金融・保険業	湖岸清掃 金融教育の支援 環境関連預金に基づく寄付 リサイクル活動	4・7・8・11・12・14・15・17
	小林事務機株式会社	オフィス機器・家具販売	働き方改革 CO2削減	4・8・9
	生活協同組合コープ自然派京都	共同購入事業	環境や食の安全の取り組み 若手生産者の支援	13・15
	株式会社滋賀銀行	金融・保険業	地域資源の再生 環境ボランティア活動 文化振興 環境金融	全て
	株式会社滋賀リビング新聞社	サービス業・その他	地域活性化 文化振興	11
	株式会社昭建	建築業・製造業 クリーンエネルギー事業	美知メセナ活動 小学生対象の「環境学習プログラム」	7・8・11・13
	正和設計株式会社	サービス業（建設コンサルタント）	美知メセナ活動	7・8・11・13
	大和ハウス工業株式会社滋賀支社	製造業・サービス業・その他	桜の植樹・和太鼓演奏体験	4・15
	長岡産業株式会社	製造業	交通事故減少と抑止	11
	株式会社ピバ	サービス業（スポーツクラブ事業・パブリックビジネス事業）	健康づくり	3
	琵琶湖汽船株式会社	運輸業	びわこの環境保全 着地型観光商品の開発やルート作り 人権意識の向上	7・14・15・11・9・17・5・8・10
	株式会社まちづくり大津	その他	大津らし歴史と文化を大切にしたまちづくり	11・17
	レーク商事株式会社	金融・保険業	環境保全活動 海と日本プロジェクト推進	14・17
	大学	ちま吉くんとちま吉ダンサーズ（成安造形大学）		大津祭りのPRキャラクターちま吉くんに関するまちづくりプロジェクトの実施
立命館大学Sustainable Week実行委員会			SDGsの認知の拡大 企業とのコラボレーション	全て



SDGsを伝える 啓発・普及活動

「SDGs」の啓発・普及、認知を広めるため、「おおつ・ぼくの、わたしの未来と世界 SDGs子ども絵画コンクール2018」として、SDGsの目標年である2030年に大人になる、現在の子ども(小学3年生から中学3年生)の絵画を募集し、51点の応募を得、大賞2点と特別賞7点を決定しました。

また市民活動団体の活動や企業のSDGsへの取り組みや地域貢献活動などを紹介したポスター展を市内5箇所の会場で開催し、スタンプラリーも実施。コミュニティFMおおつ「イブニングおおつ」の番組枠の中で、毎週月曜日の5時から「大津でGo Go SDGsers」のコーナーを設け、9月から11月末にかけて協賛団体に出演いただきました。

1. おおつ・ぼくのわたしの未来と世界、SDGs子ども絵画コンクール2018

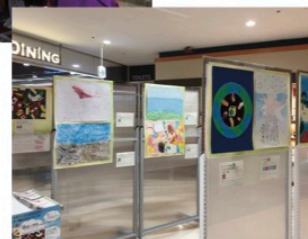
期間・募集：2018年8月1日～9月15日
 展示：2018年10月21日～11月30日
 表彰式(懇談会)：2018年11月18日
 展示会場(市民活動センター他4箇所)：
 イオンスタイル大津京店/滋賀銀行大津駅前支店
 滋賀リビング新聞社/滋賀県産業支援プラザ

参加者の声

応募した子どもからは「絵を描くときに肌の色や男女比を考慮した」「海をはじめ琵琶湖などの水を大切にしたい」などの意見が寄せられ、SDGsが子どもの視点から絵に表現されました。



SDGsフェスタでの表彰式



商業施設のロビーに展示

2. ポスター展・ポスター制作

期間・募集：2018年8月1日～10月7日
 展示：2018年10月21日～11月30日
 展示会場(市民活動センター他4箇所)：
 イオンスタイル大津京店/滋賀銀行大津駅前支店
 滋賀リビング新聞社/滋賀県産業支援プラザ

参加者の声

市民活動団体16団体、企業3社、大学1校の参加があり、市民活動センター他、商業施設など4箇所に設置しました。協力いただいた会場関係者からは「来場者は楽しそうに見ていた」「普段市民の作品を展示することがないので今後も協力したい」などの声が寄せられました。

スタンプラリーでは市民活動団体や企業による割引券や文房具、雑貨などの景品が提供され、参加者に好評でした。



SDGsポスター制作



スタンプラリーも好評でした

3. コミュニティラジオ出演

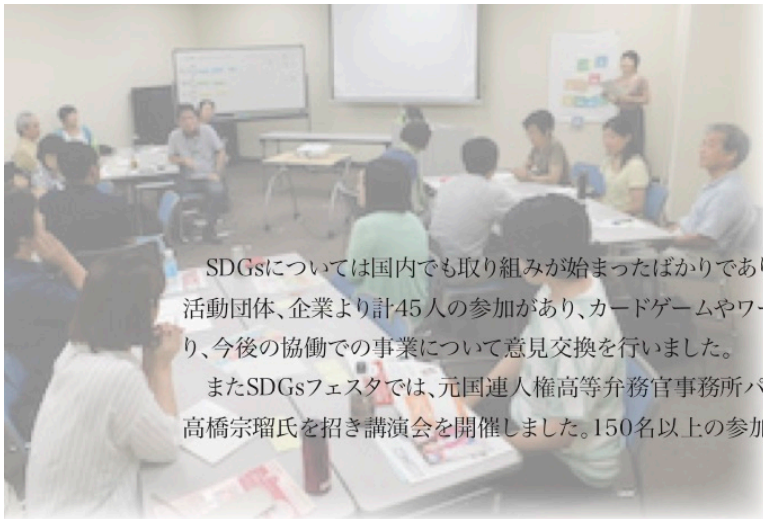
期間：2018年9月～11月毎週月曜日17時
 協賛団体：10社(企業) 15団体(市民活動団体)

参加者の声

出演いただいた市民活動団体、企業からは「自分の取り組みがアピールできた」「ラジオの出演は機会がないので楽しかった」「他団体や企業の方と交流できた」といった声が寄せられました。



FMおおつで放送された「大津でGo Go SDGsers」



SDGsを 育む 人材育成活動

SDGsについては国内でも取り組みが始まったばかりであり、今回、SDGs入門講座を2回開催しました。市民や市民活動団体、企業より計45人の参加があり、カードゲームやワークショップなどでSDGsのテーマでの関連性を俯瞰したり、今後の協働での事業について意見交換を行いました。

またSDGsフェスタでは、元国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表、ビジネス人権資料センター駐日代表の高橋宗瑠氏を招き講演会を開催しました。150名以上の参加があり、会場は満員の大盛況でした。

1.SDGs入門講座

開催日時

第1回 2018年9月1日(土)13:30~16:00

「カードゲームで世界を学ぼう

~2030SDGsカードゲーム体験~

講師:箕面子どもの森学園 藤田美保氏

第2回:2018年9月25日(火)13:30~16:00

「SDGsってなんだろう?~SDGsを活動に生かすチャンス!」

講師:JICA関西 山本康夫氏

場所:大津市市民活動センター



盛り上がったSDGsカードゲーム

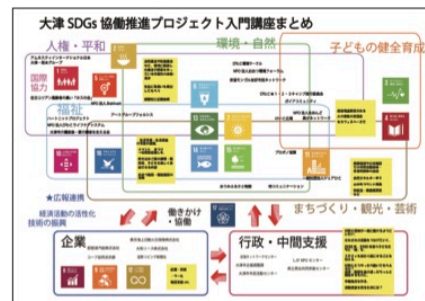


山本氏が日本のSDGs進捗状況を説明

講座の様子と参加者の声

市民公益活動団体、行政、企業から45人の参加がありました。参加者からは、ゲームやワークショップを体験し、それぞれの活動とSDGsの17のゴールが繋がっていることや、世界の状況からなぜSDGsが必要なのか、協働して取り組んでいくことに対し、理解が進んだと好評を得ました。

またそれぞれの活動紹介や協働について意見交換ができたため、参加者からは今後の協働への取り組みに期待を持つ声が多く寄せられました。



大津版のSDGs関連図と事業提案

2.SDGs講演会

開催日時:2018年11月18日(日)14:00~16:00

「国際社会は何を求めているか

~SDGs、ビジネスと人権、そしてパレスチナ~

講師:元国連人権高等弁務官事務所パレスチナ副代表

ビジネス人権資料センター駐日代表 高橋宗瑠氏

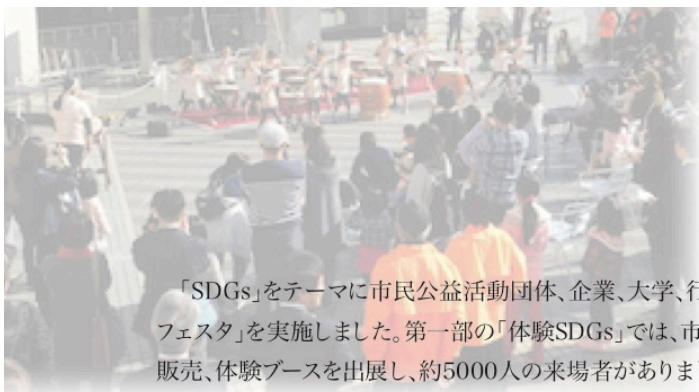
場所:明日都浜大津ふれあいプラザ4階

講演会の様子と参加者の声

参加者からは「SDGsやサプライチェーンについて理解できた」「テレビやニュースでは流れてこないイスラエルやパレスチナの現状をわかりやすく知ることができた」などの声が寄せられました。



会場が満員となった元国連高等弁務官高橋氏の講演会



SDGsを すすめる 交流活動

「SDGs」をテーマに市民公益活動団体、企業、大学、行政が、市民にそれぞれの活動を紹介したり交流する「SDGs フェスタ」を実施しました。第一部の「体験SDGs」では、市民公益活動団体と企業から計23団体がステージや飲食、販売、体験ブースを出展し、約5000人の来場者がありました(第二部のSDGs講演会は人材育成活動に記載)。

SDGsフェスタ

日時: 2018年11月18日(日)
1部10:00~13:00 2部14:00~16:00
場所: 明日都浜大津

イベントの様子と参加者の声

天候にも恵まれ、保育園児の太鼓の演奏や大学生のちま吉ダンスなどのステージ周辺ではモンゴル料理やSDGsカレーなどの飲食ブースが並び、多くの親子連れで賑わいました。館内では、アニメーション制作体験や紙芝居、塗り絵体験、民族衣装の試着や試食コーナー等多様なプログラムがありました。同日開催した環びわ湖大学・地域コンソーシアムの大学地域交流フェスタのポスター展示やプレゼンテーションも多くの来場者がありました。

会場で実施したクイズラリーは、約100名の参加があり、市民公益活動団体や企業からの景品が好評を得ました。第一部終了前には売り切れたり、整理券が終わってしまうほど好評だったブースも多く見られました。

出展団体からは、「自分の取り組みをPRできた」「親子連れが多く、多くの来場者があって驚いた」などの声が寄せられました。



市長が出席した子ども絵画コンクールの表彰式



大賑わいの飛び出し塗り絵体験コーナー



無農薬やオーガニック食品の試食コーナー



飲食ブースも昼前に売り切れになりました



PIKAPIKAアニメ制作体験は親子連れに大人気



幼稚園児の太鼓の演奏



SDGsの夢を語ってカタチにしてみよう



快晴に恵まれたステージ



環びわ湖大学・地域コンソーシアムのポスター展



琉球の獅子舞に子どもたちはびっくり